

(株)小林大伸堂

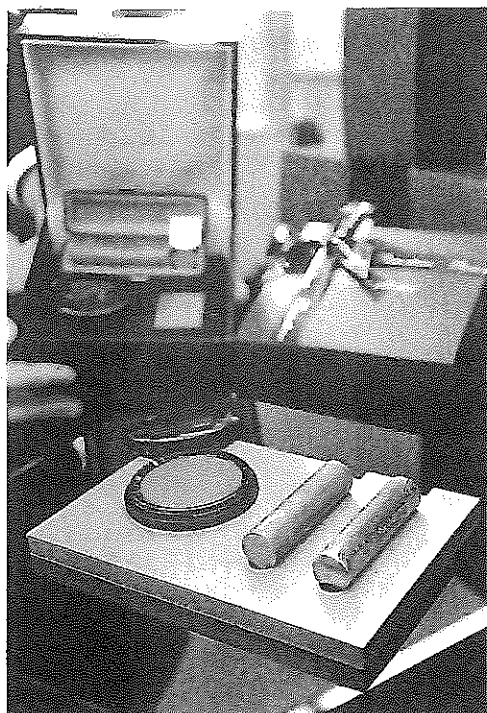
重厚、長持ち 金属印鑑

小林大伸堂(鯖江)

丹南の企業と新商品

印鑑製造販売の小林大伸堂(本社鯖江市水落町2丁目、小林照明社長)は、丹南のものづくり企業と連携し、高性能金属を使った印鑑を開発した。「折れない、さびない、欠けない」という金属の特徴を生かした重厚感あふれる商品で、11月から販売する。

商品名は「gene(ジエーネ)」。越前打刃物の素材などを作る武生特殊鋼材(越前市)の「クラッドメタル」を素材に使った。ステンレスを60層積み重ねて圧縮しており、耐腐食性や耐摩耗性が高いのが特徴。切れ味が持続する高級ナイフにも用いられ、



「クラッドメタル」を活用した印鑑の新ブランド「gene」

世界的に評価を得ている。

金属加工の西村金属(鯖江市)が印鑑の形状に加工。小林大伸堂がレーザー彫刻の技術で仕上げる。古代ローマ時代の王が使った剣「ダマスカス刀」をモチーフにした優美な波紋が特徴的。模様は商品によって異なり、「一点モノ」としての価値もある。象牙の印鑑の約4倍の120gと、適度な重さで押印しやすいという。

小林大伸堂はルビーや水晶などを使った宝石印鑑を販売し、女性を中心に人気を集めているが、「gene」は主に男性向けのブランドとして売り出す。小林社長は「決裁などの場面で、印鑑の重みを知る企業経営者らには、いいモノを長く使いたいというニーズがある。ギフト用としての需要も取り込みたい」と話している。価格は7万～15万円。(宇野和宏)